



環境教育

1 環境教育の現況と課題

環境教育は、人間と環境とのかかわりについての正しい認識に立ち、自らの責任ある行動をもって、持続可能な社会の創造に主体的に参画できる人の育成を目指すものです。

今日では、学校・地域・NPO・企業・行政による環境教育の取組が活性化しています。特に、各主体が協働して行う身近な地域の特性を活かした学習が進み、体験型学習や地球規模の視野に立った学習も広がりつつあります。学校では、体験を重視し身近な環境や地域に眼を向ける環境教育が、「総合的な学習の時間」や各教科等で取り組まれています。また、企業においても、環境マネジメントの視点から環境教育に取り組んでいるところもあります。市町村でも、生涯学習講座等で環境教育や指導者育成等を行っており、ボランティア活動・NPO活動等地域の行動へと広がりつつあります。

県では、これら各主体の環境教育・環境学習をさらに進め、「持続可能な社会」を実現していくための施策を展開しています。

2 環境教育に関する県の取組

1 環境情報の提供と相談対応の推進【環境計画課】

■ アジェンダ21かながわ環境情報相談コーナー（愛称：かながわエコBOX）の活動

県では、環境分野に関する相談、情報提供機能を充実強化するため、平成16年4月20日に横浜駅西口の「かながわ県民センター」3階に、「アジェンダ21かながわ環境情報相談コーナー（愛称：かながわエコBOX）」を設置し、「NPO法人かながわアジェンダ推進センター」と協働して運営しています。

このコーナーは、「新アジェンダ21かながわ」（P104参照）や地球温暖化、環境教育など環境分野全般の相談に対応するとともに、マイアジェンダ登録（P105参照）の普及や、パートナーシップによる取組をコーディネートする窓口としての業務を担っています。また、ホームページを活用した情報提供も行っています。

県民はもとより、企業、NPO、学校などにも気軽に活用していただくことで、「新アジェンダ21かながわ」の「環」が広がり、身近な環境配慮活動が進むことを期待しています。

アジェンダ21かながわ環境情報相談コーナー（愛称：かながわエコBOX）の概要

- (1) 場所：〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民センター3階
- (2) 電話：045-321-7453（直通）
- (3) E-mail：agendacorner@kccca.jp
- (4) 機能：環境分野の情報提供・相談、普及啓発、情報交換・相互交流機能
- (5) 取り扱い情報：①新アジェンダ21かながわ全般、②マイアジェンダ登録全般、③地球温暖化防止活動、④環境教育、⑤環境NGO・NPO関係、⑥その他環境分野全般
- (6) 対象者層：県民、企業、NPO、学校、市町村等、県内全域のあらゆる主体を対象としますが、特に、県民、企業、NPOを重点対象としています。
- (7) 運営：県とNPO法人（かながわアジェンダ推進センター）との協働により運営。
- (8) その他：環境に関するイベントや環境活動に対する助成金など、環境に関する様々な情報をホームページから発信します。



「神奈川県地球温暖化防止活動推進センター」

<http://www.kccca.jp/>

「かながわエコBOX」

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f70237/>

2 地域における環境教育の推進【環境計画課】

■ こどもエコクラブへの支援

「こどもエコクラブ」は、子どもたちが主体的に環境学習や環境保全に関する活動を行い、人間と環境のかかわりについて幅広く関心と理解を深めるための経験を積み重ねながら、環境を大切に思う心を育成することを目的に、平成7年6月に環境省の呼びかけでスタートした事業です。

全国の幼児から高校生まで誰でも参加でき、数人から20人程度の仲間と活動を支える1人以上の大人（サポーター）で構成されています。

各クラブは、メンバーの興味・関心に基づき、自ら活動内容を決めて自主的に行う活動（エコロジカルあくしょん）や自主的に行う活動をより楽しく、豊かなものにするために、全国事務局でデザインした全国のクラブの共通的学习活動（エコロジカルとれーにんぐ）を行っています。

県では、平成21年度に県内のクラブ活動の活性化やクラブ間の交流と連携を深めるため、県内交流会を開催しました。

▶表2-10-1 県内クラブ数及び会員数の状況

平成22年度末の登録数
（ ）内は平成21年度末の登録数

市町村名	登録クラブ数	登録人数	サポーター人数
横浜市	23(26)	922(3,961)	112(341)
川崎市	6(5)	646(1,315)	98(131)
相模原市	26(20)	361(68)	58(18)
横須賀市	6(15)	75(302)	35(44)
平塚市	1(2)	17(47)	1(2)
鎌倉市	4(3)	137(204)	37(35)
藤沢市	6(6)	188(115)	77(60)
小田原市	7(22)	40(79)	11(32)
茅ヶ崎市	8(10)	182(165)	38(58)
秦野市	3(4)	56(271)	12(8)
厚木市	3(3)	17(39)	5(6)
大和市	4(0)	73(0)	13(0)
伊勢原市	1(0)	30(0)	1(0)
海老名市	4(1)	170(10)	7(4)
南足柄市	1(1)	3(3)	2(2)
綾瀬市	1(0)	12(0)	8(0)
寒川町	2(2)	8(8)	2(2)
箱根町	2(4)	37(46)	12(13)
真鶴町	0(2)	0(4)	0(4)
湯河原町	0(4)	0(10)	0(8)
合計	108(130)	2,974(6,647)	529(768)

■ 環境インターンシップの推進

県では、県内にキャンパスをもつ大学の大学生や大学院生に環境配慮に取り組む企業における職業体験を得させることにより、環境保全及び環境問題の解決に必要な意欲及び実践的能力を有する人材を育成することを目的として環境インターンシップを行っています。平成22年度は、15大学29名の学生を企業11社に派遣しました。

③ 学校における環境教育の推進【子ども教育支援課、高校教育企画課、高校教育指導課】

■ 各教科等における環境教育の実施

学校教育においては、「総合的な学習の時間」をはじめ各教科等、学校の教育活動全体を通じてさまざまな角度から環境教育を推進しています。

具体的には、幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校において、児童・生徒の発達の段階に応じ、人々の活動と環境とのかかわりなどについて、体験を交えたさまざまな学習活動を工夫・実践することにより、子どもたちが環境について理解を深め、環境や環境問題に関心をもつとともに、環境を大切にし、環境保全に配慮した行動がとれるよう努めています。

とりわけ、「総合的な学習の時間」では、それぞれの地域や学校の特色を生かし、学校周辺の自然観察、大気や水質の調査、稲作や野菜作りなどの栽培活動、海岸や公園などの美化活動、下草刈りなどの森林保全活動などの体験活動を通して、問題解決的な学習を重視した多様な教育実践を展開しています。

■ 高等学校における特色ある環境教育

県立高校においては、平成22年度から環境教育に先導的に取り組む「環境教育推進校」（9校）を指定しています。指定校では、先進的な環境に係る教育活動を行うための研究や、環境に関する意識を高めるための体験活動や講演会などを行っており、積極的に環境教育への取組を進めています。

環境教育への取組の事例としては、里山の環境保全や森林の維持管理などの実習、ビオトープや太陽光発電を利用した環境学習、「総合的な学習の時間」における「環境」に関する研究等の学習活動などがあげられます。また、生徒会活動や文化祭等の学校行事で、ごみの分別や空き缶・牛乳パックのリサイクルなどの活動に取り組んでいる学校もあります。

全県的な取組としては、各校での環境問題への取組について生徒が発表し、研究討議などを行う「環境シンポジウム」や、環境問題解決に関するレポートを募集し、表彰を行う「エコライフ・コンクール」の開催などを通して、高校生の環境問題に対する意識の高揚を図っています。

▶表2-10-2 環境教育推進校

区分	説明	指定高校名
環境教育推進校	エネルギー・環境問題について、主体的に考え、行動できる資質をはぐくむ環境教育に先導的に取り組むことで、全県または地域内における環境教育の普及、充実に資する拠点校として研究を行います。	県立鶴見高等学校、県立舞岡高等学校、県立横浜栄高等学校、県立川崎高等学校、県立平塚工科高等学校、県立平塚農業高等学校初声分校、県立三浦臨海高等学校、県立海老名高等学校、県立吉田島総合高等学校

④ 環境教育を支援するしくみづくり【環境計画課】

■ 新エネルギー・省エネルギー学校派遣事業

県では、地球温暖化対策の一環として、学校教育を通じ地域社会での新エネルギー・省エネルギーの普及啓発、導入促進を図るため、新エネルギー・省エネルギーに関して豊富な知識・経験を有する県内の団体等のみなさんに、小・中学校、高校等で実験等を活用した体験型の授業を実施していただく「新エネルギー・省エネルギー学校派遣事業」を実施しています。

平成22年度は、52校の小・中学校、高校等で体験型の授業を実施しました。

コラム 小田原市立町田小学校

町田小学校では、日常生活で生じる廃食油がごみ収集車の燃料として再利用できることを知り、廃食油の回収を通して環境問題に積極的に関わっています。

(1) 活動のきっかけ

4年生の社会科の学習で地域のごみ収集に携わる企業の施設見学を行い、廃食油がディーゼル車の燃料になっていることを知りました。廃食油の回収が環境問題の改善に役立つということで、平成20年度から活動を始めました。



(2) 地域の環境美化への貢献

児童の家庭を中心に取り組み始めたこの活動が市の広報で紹介され、市全体での活動に広がってきました。

(3) 環境教育の推進

ごみの減量化・資源化におけるごみの分別についての理解が深まるだけでなく、「菜の花の栽培→菜種油の採取→廃食油の回収→バイオディーゼル燃料の精製→回収車からの二酸化炭素排出→菜の花の吸収」という循環型社会への新たな気づきも生まれ、菜の花の栽培活動も推進しています。

コラム 茅ヶ崎市立円蔵中学校

円蔵中学校では、学校教育目標の一つに「自らを社会の一員として自覚し、進んで役割を果たすことができる生徒」を掲げ、平成21年度からボランティア活動による地域貢献と地域の教育力との協働を推進しています。

(1) 円蔵クリーンボランティア

生徒・保護者・地域の人々が一緒になって、学校周辺の草取り、学区内のごみ拾い、フラワーロードの整備等を、年6回、放課後1時間程度で実施しています。毎回50～80名の生徒が参加を希望し、地域コーディネーターの支援により、地域の協力体制も確立しています。



(2) きれいきれいマンデー

週明けの最初の日、生徒は登校中に路上のごみを拾ってきます。

生徒会が中心となって取り組んでおり、環境美化に対する生徒の意識が次第に高まってきました。ごみは4種類に分別され、市の回収日に出しています。

コラム 県立舞岡高等学校

舞岡高校は県立高校教育力向上推進事業の環境教育推進校9校のうちの1校であり、環境教育をとおした恵み豊かな地域環境づくり、開かれた学校づくりを実践するとともに「いのちと共生」をテーマとした地球温暖化対策などの環境教育に取り組んでいます。

(1) 舞岡公園の下草刈り

舞岡公園田園・小谷戸の里管理運営委員会の指導により、毎年、舞岡公園の下草刈りを行っています。下草刈りにより植樹した木が順調に成長しています。

(2) 地域や校内の植樹整備

地域貢献デーの一環として養護学校分教室や近隣の小学校との協働によって地下鉄舞岡駅から舞岡公園間の遊歩道等の植樹整備を行っています。

環境に関する様々な活動により、生徒は環境問題に対する意識を高めており、取組の成果についてはホームページ等で発信しています。

